

西陣病院看護部クリニカルラダー

定義	レベル	I	II	III	IV	V	
	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手のニーズを身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急性のある異常を発見できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、家族のニーズに気づくことができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、意図的に家族のニーズに気づき適切な支援につなげることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる <input type="checkbox"/> 自立して意図的に家族のニーズに気づき、多職種に家族のニーズを情報発信できる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 自立して意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる <input type="checkbox"/> 主体的に、家族の思いに寄り添った看護計画の立案ができる	<input type="checkbox"/> 早い段階から複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> ケアの受け手にわかりやすい説明を行い同意を得ることができる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる <input type="checkbox"/> 自己の能力の限界を判断できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受けてに必要な援助の優先度を決定することができる <input type="checkbox"/> 守秘義務を遵守し、プライバシーに配慮した実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる <input type="checkbox"/> 自己の能力の限界を判断できる <input type="checkbox"/> 予測困難な場面(対象の急変など)にも可能な範囲で対応し判断できる <input type="checkbox"/> 融通性やスピードには欠けるが偶発的出来事に対応している	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性性に合わせて、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性性をとらえ、看護実践に反映ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談・確認ができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、日常業務において所属部署のカンファレンス等で自分の意見が述べられ、問題提起ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 日常業務において所属部署のカンファレンス等で自分の意見が述べられ、問題提起ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
		【行動目標】	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる

定義	レベル毎の定義	I	II	III	IV	V
		責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームでは、フォロワーやチームメンバーの役割、病棟の係としては簡単なルーチンの係の役割を遂行できる	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を遵守した行動がとれる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれるまた、指導・助言を得ながら新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる。また、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。	所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または、指導的な役割(学生指導、業務委員、教育委員、リスクマネジメント委員など)を遂行できる。看護単位の課題の明確化ができる	所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる
組織的役割遂行能力	【行動目標】	<input type="checkbox"/> 病院、看護部の理念を理解することができる <input type="checkbox"/> 部署の達成目標に向けて、助言、指導を受けながら実践している <input type="checkbox"/> 指示を受けながら、メンバーの役割を遂行することができる <input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談・確認ができる <input type="checkbox"/> 時間を守り行動することができる <input type="checkbox"/> 就業規則に関する諸手続きの報告の必要性がわかる <input type="checkbox"/> 助言を得ながら、対象等に対し、適切な情報提供を行う <input type="checkbox"/> 自分の健康管理に気を遣い職員健診を受けている <input type="checkbox"/> 所属部署の業務改善活動を知っている <input type="checkbox"/> 学生の実習目的・目標・内容を知っている	<input type="checkbox"/> 病院、看護部の理念を理解し、行動することができる <input type="checkbox"/> 部署の目標達成に向けたメンバーとしての役割を遂行できる <input type="checkbox"/> 看護基準(手順)や看護管理基準を遵守した行動がとれる <input type="checkbox"/> 日々の看護業務においてリーダーシップがとれる <input type="checkbox"/> 時間や物品のコストを把握し、効率よく使うことができる <input type="checkbox"/> 対象にあったケア計画・実践・評価ができるよう意図的・継続的に指導をする <input type="checkbox"/> 援助を受けながら所属部署の教育プログラムの企画・運営に参画する <input type="checkbox"/> 実地指導者(プリセプター)としての役割を遂行できる <input type="checkbox"/> 看護技術が対象に安全に行われるよう指導する <input type="checkbox"/> 学生の役割モデルとなることができる <input type="checkbox"/> 学生の実習目的・目標・内容がわかる <input type="checkbox"/> 指導・助言を得ながら看護学生の指導ができる	<input type="checkbox"/> 保健医療福祉および看護に関わる政策や診療報酬体系に関心を持っている <input type="checkbox"/> 指導・助言を得ながら、物品の定数や使用状況を把握し、管理的視点で運用・改善できる <input type="checkbox"/> 就業規則に関する諸手続きの報告の必要性について指導できる <input type="checkbox"/> チームメンバーや指導対象となる者の能力を理解して指示・指導ができる <input type="checkbox"/> 同僚が自由に責任をもって意見が言えるような雰囲気づくりに努力している <input type="checkbox"/> 同僚の能力を引き出しながら意図的・継続的に関わる <input type="checkbox"/> 委員会活動ができる <input type="checkbox"/> 教育担当者(アソシエイト)としての役割を遂行できる <input type="checkbox"/> スタッフの個性に合わせ、対象にあったケア計画・実践・評価ができるよう意図的・継続的に指導をする <input type="checkbox"/> 学生指導者として実習目標・指導方法を考慮し、学生の理解の度合いや学習進度に沿った指導をする	<input type="checkbox"/> 保健医療福祉および看護に関わる政策や診療報酬体系に関心に向け、自分達の看護に結び付けて考えることができる <input type="checkbox"/> 物品の定数や使用状況を把握し、管理的視点で運用・改善できる <input type="checkbox"/> 就業規則に関する諸手続きについて指導できる <input type="checkbox"/> チームの目標達成のために予測し、全体をみてメンバーを動かし、役割や環境の調整ができる <input type="checkbox"/> 主体的に委員会活動ができる <input type="checkbox"/> 同僚が自由に責任をもって意見が言えるよう、ファシリテーターとしての役割を遂行する <input type="checkbox"/> 専門的な指導技術を駆使し教員と協働しながら効果的な学生指導を実践することができる	<input type="checkbox"/> 委譲された範囲内で管理業務ができる <input type="checkbox"/> 保健医療福祉および看護に関わる政策や医療経済を理解し、状況を判断しながら積極的に看護部門の改革に参画する <input type="checkbox"/> 職場内のストレスマネジメントに努めている <input type="checkbox"/> 看護部門全体の教育企画・運営に携わる <input type="checkbox"/> 所属部署の看護チームの問題点をアセスメントし、改善に向け、同僚を巻き込んで意図的・継続的に関わる <input type="checkbox"/> 看護部門の問題解決に向けて、チームメンバーと情報交換、意見交換が円滑にでき、リーダーシップをとることができる <input type="checkbox"/> 看護部組織委員会に所属部署の代表として参加し、主体的に意見が述べられる <input type="checkbox"/> 多職種とチームをつくり、効果的な活動ができる <input type="checkbox"/> 学生の実習指導に関して看護職員や関係職種との調整や相談ができる <input type="checkbox"/> 学生指導者に意図的に関わりながら教育活動を支援し、臨地実習の環境を整える <input type="checkbox"/> 安全な医療提供体制を推進するために看護部門のリーダーシップを発揮できる <input type="checkbox"/> 薬品管理のための看護部門の環境調整や適切な指導ができる <input type="checkbox"/> 感染予防について看護部門の環境調整や適切な指導ができる <input type="checkbox"/> 災害時、リーダーシップをとりながら活動できる <input type="checkbox"/> 専門分野に必要なマニュアルの整備の推進役になる
	レベル毎の定義	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	自己の学習活動に積極的に取り組むことができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組む、後輩のロールモデルとなることができる	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる
自己教育・研究能力	【行動目標】	<input type="checkbox"/> 看護部や所属部署の教育計画にそって学習することができる <input type="checkbox"/> 助言を得ながら自分の学習課題を明確にすることができる <input type="checkbox"/> 主体的に学習することができる <input type="checkbox"/> 院内全体研修に参加することができる <input type="checkbox"/> 所属部署の研究活動の内容を知っている	<input type="checkbox"/> 院内外の教育プログラムに参加し、同僚に情報伝達できる <input type="checkbox"/> 自分の学習課題を見出し、学習計画を設定できる <input type="checkbox"/> 専門領域の文献を読み、日々の看護に活かしている <input type="checkbox"/> 助言を受けながら、看護研究に協力することができる	<input type="checkbox"/> 自己のめざす方向性を意識して、継続的に院内外の教育プログラムや学会に参加し、同僚に学びを伝達している <input type="checkbox"/> 自己の実践を、根拠や理論を用いて振り返り意味づけすることができる <input type="checkbox"/> 看護研究に関心を示し、主体的に看護研究に協力することができる	<input type="checkbox"/> 自己のキャリア開発に関する院内外の教育プログラムや学会に参加し、その内容を同僚に指導することができる <input type="checkbox"/> 過去の経験を根拠や理論を用いて分析することができ、その内容を看護部全体に伝達できる <input type="checkbox"/> 主体的に看護研究に取り組み、中心的役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 研究を通し業務改善に取り組むことができる	<input type="checkbox"/> 自己のキャリア開発に関する院内外の教育活動や学会に参加し、その内容を看護部全体に指導することができる <input type="checkbox"/> 所属部署のニーズに沿った教育計画を立案し実践することができる <input type="checkbox"/> 看護研究の指導・サポート役を果たすことができる <input type="checkbox"/> 研究を通し業務改善を推進できる <input type="checkbox"/> 専門領域の学会にて研究発表する <input type="checkbox"/> 専門分野に関するキャリアカウンセリングができる
	レベル毎の定義	看護実践における倫理的側面を理解できる	看護実践における倫理的側面を理解し、行動につなげることができる	倫理的問題に対し解決に向けた行動がとれる	倫理的問題に対しリーダーシップを発揮し問題を解決できる	倫理的問題を解決し、看護部全体に影響を与えらる
倫理	【行動目標】	<input type="checkbox"/> 日本看護協会「看護者の倫理綱領」を理解し、倫理的問題がわかる <input type="checkbox"/> 倫理的問題に気づき、上司・同僚に伝えることができる <input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮できる <input type="checkbox"/> 患者のインフォームドコンセントの必要性が理解できる	<input type="checkbox"/> 日本看護協会「看護者の倫理綱領」に基づき、自己の看護実践を振り返ることができる <input type="checkbox"/> 倫理的問題に気づき、問題提起することができる <input type="checkbox"/> 患者に必要な看護のインフォームドコンセントを行うことができる	<input type="checkbox"/> 倫理的問題について問題提起し、状況をふまえて解決に向けた行動がとれる <input type="checkbox"/> 日常業務の法的根拠について理解し、実践できる	<input type="checkbox"/> 倫理的問題に対し、上司・同僚と共に解決に向けてリーダーシップが発揮できる <input type="checkbox"/> 上司と協働し、倫理的問題を検討する体制を整えることができる	<input type="checkbox"/> 倫理的問題の解決に向けて、的確なアドバイスができる <input type="checkbox"/> 倫理的問題を解決し、必要な業務改善やマニュアル修正・作成、システム作りができる